

目 標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ネットワークシステムの活用に必要な資質・能力の育成を目指す。
-----	---

●学習内容

1 学期	20 時間	2 学期	30 時間	3 学期	20 時間
第 1 章 私たちの社会とネットワークシステム 社会の中のネットワークシステムや法規など	10 10	第 3 章 ネットワークの設計と構築 ネットワークの分析、評価と設計	15	第 5 章 ネットワークシステムの運用管理 インシデント管理や保守・セキュリティ管理	20
第 2 章 ネットワークの基礎 TCP/IP、データ通信の仕組み		第 4 章 ネットワークシステムの開発 各種ネットワークサーバの働きおよびサービス	15		

教材
教科書:「ネットワークシステム」実教出版 自主作成教材(ワークシート)

授業の進め方
一斉授業により、ネットワークシステムについて基礎的な知識・技術を学びます。また、演習を通して用語や仕組みの理解を確認し、ワークシートに取り組むことで学びの定着と深化を図ります。 アドバイス：基本的な知識・技術の解説を、関心を持って聞く姿勢とノートにまとめることが大切です。また、積極的にワークシートなどに取り組み、疑問点は早期に解決することが大切です。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技能（技術）	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる（できる）	「習得する」状況で、かつ、関連する高度な知識や技術を身に付けている。	「習得する」状況で、かつ、課題を見出す力に優れ、深い考察と表現力に優れている。	「習得する」状況で、かつ、更なる向上を目指して、繰り返し学びを深めることができている。
	習得する（わかる）	ネットワークシステムについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	ネットワークシステムに関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	ネットワークシステムの安全かつ効率的な活用を目指して自ら学び、ネットワークシステムの開発、運用及び保守などに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	行動観察 ワークシート 学習カード

単元別 評価規準

第1章 私たちの社会とネットワークシステム, 第2章 ネットワークの基礎

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	「習得する」状況で、かつ、データ通信の仕組みに関する高度な知識や技術を身に付けている。	「習得する」状況で、かつ、課題を見出す力に優れ、深い考察と表現力に優れている。	「習得する」状況で、かつ、更なる向上を目指して、繰り返し学びを深めることができています。
	習得する (わかる)	ネットワークシステムと情報社会の関わり及びデータ通信の仕組みについて理解しているとともに、ネットワークに係る技術を身に付けている。	情報社会の中で使われているネットワークシステムに関する課題を発見し、情報技術の活用を通して合理的かつ創造的に解決を考え、科学的な根拠に基づき結果を論知的に考察できる。	ネットワークについて自ら学び、ネットワークシステムの活用に興味を持ち、学習態度は真剣で意欲的かつ協働的に取り組もうとしている。

第3章 ネットワークの設計と構築

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	「習得する」状況で、かつ、ネットワークの設計や分析に必要な高度な知識や技術を身に付けている。	「習得する」状況で、かつ、課題を見出す力に優れ、深い考察と表現力に優れている。	「習得する」状況で、かつ、更なる向上を目指して、繰り返し学びを深めることができています。
	習得する (わかる)	ネットワークの設計や分析について理解しているとともに、ネットワークを効率的に構築する技術を身に付けている。	ネットワークの構築に関する課題を発見し、ネットワークの設計や分析を通して創造的に解決を考え、科学的な根拠に基づき結果を論知的に考察できる。	ネットワークの設計や分析について自ら学び、ネットワークの構築に興味を持ち、学習態度は真剣で意欲的かつ協働的に取り組もうとしている。

第4章 ネットワークシステムの開発

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	「習得する」状況で、かつ、ネットワークシステムを活用したサービスの構築に必要な高度な知識や技術を身に付けている。	「習得する」状況で、かつ、課題を見出す力に優れ、深い考察と表現力に優れている。	「習得する」状況で、かつ、更なる向上を目指して、繰り返し学びを深めることができています。
	習得する (わかる)	ネットワークサーバの役割とネットワークアプリケーションの開発手順について理解しているとともに、ネットワークシステムを活用したサービスを構築する技術を身に付けている。	ネットワークシステムの開発に関する課題を発見し、ネットワークシステムの活用を通して合理的かつ創造的に解決を考え、科学的な根拠に基づき結果を論知的に考察できる。	ネットワークシステムの開発について自ら学び、ネットワークシステムの活用に興味を持ち、学習態度は真剣で意欲的かつ協働的に取り組もうとしている。

第5章 ネットワークシステムの運用管理

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	「習得する」状況で、かつ、ネットワークシステムの保守やセキュリティ対策に必要な高度な知識や技術を身に付けている。	「習得する」状況で、かつ、課題を見出す力に優れ、深い考察と表現力に優れている。	「習得する」状況で、かつ、更なる向上を目指して、繰り返し学びを深めることができています。
	習得する (わかる)	ネットワークシステムの運用と保守、セキュリティ対策についての目的や役割、必要性や重要性を理解しているとともに、これらに必要な技術を身に付けている。	ネットワークシステムの運用と保守、セキュリティ対策に関する課題を発見し、情報技術の活用を通して創造的に解決を考え、科学的な根拠に基づき結果を論知的に考察できる。	ネットワークシステムの運用と保守、セキュリティ対策について興味を持ち、学習態度は真剣で意欲的かつ協働的に取り組もうとしている。